

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第4回議事要旨

(平成27年7月29日(水)16時30分～17時30分、日本銀行本店会議室)

1. 議事の概要

- 第3回議事要旨が承認され、日本銀行ホームページ上で公表することが承認された。
- 事務局から、リスク・フリー・レートに関する国際的な議論の動向についてアップデートが行われた。
- 続いて、事務局から、前回会合後に参加者に対して行われたアンケートの結果について報告が行われた。アンケート結果については、①リスク・フリー・レートとして優先的に検討すべきとされている3つの候補（無担保コールレート・翌日物、OISレート、GCレポレート）のうち、無担保コールレート・翌日物が好ましいとする意見が最も多かったものの、他のレートを推す意見もあったこと、②いずれのレートについても、リスク・フリー・レートとして導入・利用する場合の実務的な課題が多く指摘されたこと、等が報告された。その後、事務局からの報告を踏まえ、意見交換が行われた。
- 議長から、今後の会合の進め方として、アンケート結果から浮き彫りになった課題について、上述の3つの候補毎に集中的に検討していくことが提案され、了承された。
- 議長より、次回会合は9月中旬を予定していることが示された。

2. 参加者の意見

- 今後のリスク・フリー・レートの検討に当たっては、指標の用途を整理した上で、導入・利用に向けた課題についてより具体的に議論していくことが重要である。また、主要国におけるリスク・フリー・レートが互いに整合的なものとなることが望ましいことから、他国における検討状況を踏まえることが重要であるほか、指標算出のコストも勘案しつつ検討を進めるべきである。
- リスク・フリー・レートの導入・利用に関する議論を円滑に進めていくためには、エンド・ユーザーやステークホルダに対するアウトリーチが有用である。

以 上

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第4回会合 参加者

(メンバー)

議 長	み ず ほ 銀 行	木 村 淳 一
副 議 長	野 村 證 券	橋 本 茂
	S M B C 日 興 証 券	松 下 和 洋
	ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
	大 和 証 券	帯 刀 和 直
	大 和 証 券	猪 谷 幸 雄
	ド イ ツ 銀 行	小 林 啓
	ド イ ツ 銀 行	永 田 育 真
	野 村 證 券	石 田 隼 人
	野 村 證 券	福 田 俊 一
	バ ー ク レ イ ズ 証 券	村 山 大 介
	バ ー ク レ イ ズ 証 券	森 原 恒 輔
	み ず ほ 銀 行	笠 松 義 人
	み ず ほ 銀 行	小 森 亮 介
	み ず ほ 証 券	葛 西 弘 道
	三 井 住 友 銀 行	山 本 浩 司
	三 菱 東 京 U F J 銀 行	片 岡 大 輔
	三 菱 東 京 U F J 銀 行	山 下 篤 志
	三 菱 U F J モ ル ガ ン ・ ス タ ン レ ー 証 券	中 西 幸 作
	ユービーエス・エイ・ジー	牛 嶋 靖 夫
	I S D A	有 馬 康 修
	I S D A	桜 井 孝 治
	I S D A	森 田 智 子
	全 国 銀 行 協 会	小 山 寛 隆
	全 国 銀 行 協 会	永 田 和 浩
	日 本 証 券 業 協 会	武 田 創
	日 本 証 券 業 協 会	中 瀬 裕 也
	日 本 証 券 業 協 会	丸 野 雅 人

(オブザーバー)

金		融	庁	松	田	泰	幸
金		融	庁	鳩	間	正	也
金		融	庁	白	澤	光	音
金		融	庁	福	島	宏	樹
日	本	銀	行	藤	田	研	二
日	本	銀	行		東	善	明
日	本	銀	行	清	水		茂

(敬称略)

以 上